



「つくろう! 田園新潟」

くしだ修平

2018年
夏号

ご挨拶

暑かった夏も終わり、立秋とともにすっかり秋めいてまいりました。

酷暑の夏を振り返ると、その魁となった知事選を思い起こします。

前知事の突然の辞任に伴う予期せぬ知事選は激しく、国政並みの熱い選挙戦でありました。当選した花角新知事は、前回の知事選や市長選にも取りざたされたと言われており、この度は満を持しての出馬でありました。私は天の声・天の啓示・天の配材と賞賛を送りたいと思います。

「天爵を修めて、人爵これに従う」という中国古典易経の格言がありますが、花角氏は正にこの格言を体現されたのではないのでしょうか。

それでは、勝敗を分けた花角氏と池田氏の違いは何だったのか。原発問題のスタンスはほぼ同一でしたので、違いといえば男女の違い、出身地の違い、経歴の違い等です。選挙本来の政策の違いや公約の違いはあまり争点にならなかったような気がします。

選挙戦の終盤戦は政策論争そっちのけの中傷合戦、感情論になった感すらありました。両陣営とも反省点の多い熱い知事選でありました。

平成三十年八月

新潟市議会議員

串田 修平

平成30年度 新潟市議会定例会 <一般会計予算> 6月定例議会補正予算 13億8千2百万円可決 <G20新潟農業大臣会合開催推進事業等>

一般会計補正予算の主な内容

主な歳出予算

- G20新潟農業大臣会合開催推進事業 一、八百万円
- 道路新設改良等事業 九億六、八百万円
- 新潟港横越線
- 嘉瀬蔵岡線
- 亀田中央線
- 新潟亀田内野線（北山拡幅）等
- 改元に伴うシステム改修事業 二億七、三百万円
- 市税関連オンラインシステム改修事業 七、九百万円
- 母子福祉システム改修事業 二、八百万円
- 新たな広域連携調査事業 一、二百万円

江南駅の取り組み

江南区議員協議会とJR新潟支社の新駅担者と、懇談会が開催されました。

新潟市とJR新潟支社とで新駅設置の検討に関する協定を本年2月2日付けで結んだことから、内容についての確認と今後の取り組みについて意見交換しました。これは信越線江南駅（仮称）と越後線上所駅（仮称）を想定したもので、新駅設置に関する双方の協力体制を約束したものです。

二年前前に旧中央卸売市場（上所）開発に伴う土地の売却議案が上程されたときに文教経済常任委員会でも串田議員から上所駅についての発言をきっかけに江南駅とのセット論が浮上したものです。

新潟市域における公共交通の利用促進に向けた連携に関する協定書

- 第1条（目的）
- 第2条（協力事項）
- 第3条（協定の有効期間）
- 第4条（協定の解約）
- 第5条（その他）

平成30年2月2日

甲 新潟市長
乙 JR東日本新潟支社長

ゴミゼロミッションの環境センターを行政視察

新潟市と聖籠町との一部事務組合方式で運営している豊栄郷清掃施設処理組合議会議長として7月18～19日、行政視察を行いました。



▲焼却灰リサイクルによるブロック・砂礫等

大学と市議会とのパートナーシップ協定の実践事例の先進地を視察

新潟市議会では、政策形成能力の向上を主目的に大学とのパートナーシップ協定作業部会を設置しました。その座長として8月2・3日、横須賀市議会・八尾市議会・立命館大学を訪問し、大学とのパートナーシップ協定の締結経過・実践と取組状況について調査してきました。

それぞれの市議会では地域に存置する特定の大学と包括的な協定を結んでおり、双方のメリットを享受していました。

これから新潟市議としても地元大学と協定締結に向け協議して参ります。



▶横須賀市議会にて



▶立命館大学にて

◆江南区の人口 68,895人／27,022世帯（うち男性33,517人・女性35,378人）

※平成30年7月末現在



目指そう！中央環状道路整備促進・完遂！

